

「読む冊子」から「参加するメディア」へ。会報の電子版切り替えを始めます。

原則全会員に年1回郵送している「緑友会報」をスマホやパソコンで見られる電子版に切り替えていきます。来年度から段階的に進めます。

同窓会システムや電子決済(カード決済)の導入など、この3年間で緑友会のデジタル化は一気に進みました。1年前にリニューアルしたホームページでは、全国と同窓会に先駆けて動画を多用。投稿欄「ChannelR」も開設し、紙媒体では不可能だった双方向での多彩な発信を始めています。

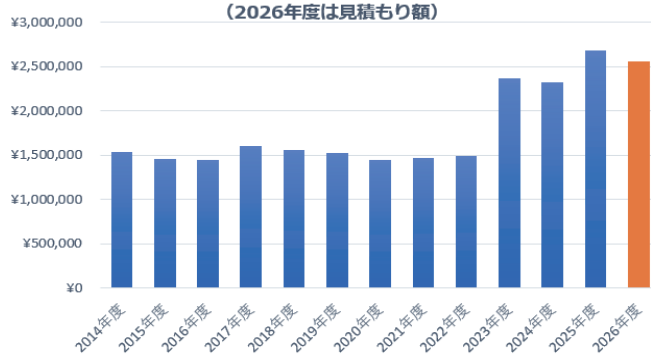
一方、「諸物価高騰」「少子化(新入会員減)」「休止した後援会の活動継承」により、会財政は厳しくなっています。特に支出の6割前後を占めてきた会報費は、この4年間250万円前後と、それまでの約150万円から1.7倍に跳ね上がりました(グラフ参照)。郵送数で割ると1部約150円になります。

こうした流れを受け、昨年度総会で会報デジタル化の承認をいただきました。そして今回、この会報で切り替え計画をご周知した上で、次のステージに進むことにした次第です。

ご理解をお願いします。(緑友会長 川本正人)

会報発行費

(2026年度は見積もり額)



来年度の会報郵送は「50歳以上」「新入会員」「元教職員会員」の全員と「希望会員」「ご支援金納付会員」

2027年度の郵送は、

- ①同年度で満50歳以上の会員(普通科39期までと芸能文化科1期)
- ②2027年3月卒業の普通科70期、芸能文化科32期、共生推進教室5期生
- ③本校在籍後に転出または退職し、入会に同意した教職員
- ④満49歳以下の郵送希望会員
- ⑤2026年度に応援会費や寄付をお納めの会員以上の方々を対象です。

これら以外の会員には、ホームページに掲載する電子版でご覧いただき、応援会費や寄付も同ページからの電子決済をお願いします。

<なぜ満50歳?>

☆50歳未満はデジタルが身近

Windows95の登場でパソコンが初心者でも使える「家電」になったのが1995年。現在の50歳が間もなく20歳のころでした。

iPhoneやアンドロイドの発表は2007年。今の若者は生まれたときからスマホ世代です。

☆50歳以上はアクティブ会員

応援会費・寄付は、金額、件数とも50歳以上からが90%超(グラフ・表参照)。会報を開封し、中の払込用紙で積極的に支援して下さる傾向がうかがえます。社会や家庭での役割が一段落して「素」の自分に戻り、旧友や母校への思いを強くされるからかもしれません。



2025年度のご支援比率				
卒期	満年齢	件数	金額	
1~10	86~77	24.6%	90.9%	27.9%
11~20	76~67	38.8%		33.9%
21~30	66~57	22.0%		24.1%
31~37	56~50	5.5%		4.9%
38~40	49~47	1.1%	7.7%	1.6%
41~50	46~37	3.2%		3.7%
51~60	36~27	1.6%		1.4%
61~68	26~19	1.9%		1.3%
元教員ほか		1.4%	1.4%	1.2%
計		100.0%	100.0%	

※ご支援いただいた方のお名前はホームページに掲載しています。